

週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



▶小泉首相、インドなど訪問 経済・国連 関係強化を

今週、小泉純一郎首相がインド、パキスタンなどの訪問に出發する。

インドは、欧米金融機関が相次いでシステム部門をアウトソーシング（業務の外部委託）先にするなど、情報技術（IT）分野で世界的に存在感を増している。英語圏で知的水準が高いことも魅力だ。

ここ数年、インド政府は外資規制を緩和しており、海外企業でも政府への国際裁判を比較的起こしやすいといわれる。外資にオープンな風土であるにもかかわらず、日本企業の進出はスズキなど少数に限られており、経済関係強化の余地は十分にある。

忘れてならないのは、インドが人口面では世界最大の民主主義国家であるということだ。日本の今後の外交戦略では「民主主義をしっかりと担う日本」という姿勢やイメージが重要になる。インドとは国連安保理の常任理事国入り問題で連携するなど、中長期的な視点に立って戦略的な関係強化に取り組むべきだろう。

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。